

*Rock on Green!*

2025年4月期 第3四半期  
決算説明資料

2025年3月11日

株式会社グリーンエナジー&カンパニー



証券コード1436

# 株式会社グリーンエネルギー&カンパニーから投資家の皆さまへ

再生可能エネルギー市場は未来の世界的産業です。

欧米中と比較して市場形成が遅い日本市場も、これから各社の参入・形成が進みます。



当社の思想である「個人参加型持続可能エネルギー社会」に

共鳴いただける仲間（カンパニー）と共に、

日本の再生可能エネルギー市場における代表的プレイヤーとなることに照準を置いています。

## 中期経営計画「Green300」進行状況

- 「開発数最大化」戦略の元、Non-FIT開発区画数は前年対比約1.8倍と伸長を継続
- 新注力事業の系統用蓄電池は案件化が進行、新たに加える主要事業への成長に弾みがついた
- 組織体制の強化と生産効率の追求を継続中

## 25年4月期第3四半期実績

- 売上高、売上総利益は増収増益（前年同期比）、太陽光発電施設の工事完成に一部の遅れが生じるも、通期影響はなし
- 開発・販売体制強化に伴う人件費増等により、販管費が増加するも期初予想通り
- 1Q/2Qに引き続き開発仕入による棚卸資産は順調に増加。財務の安定性を意識した経営を継続

1. 25年4月期第3四半期決算概要 … P. 5
2. 中期経営計画 Green300  
(25年4月期- 29年4月期) の進捗 … P. 14
3. Appendix … P. 20

1

# 25年4月期第3 四半期決算概要

# 2025年4月期 第3四半期 連結業績概要



売上高、売上総利益は前年超えで推移、  
営業利益、経常利益、当期純利益は系統用蓄電池の先行支出増も軽微

(単位：百万円)	24年4月期 第3四半期 (連結)	売上対 構成比	25年4月期 第3四半期 (連結)	売上対 構成比	対前年同期比	25年4月期 計画	対計画比
売上高	6,538		7,631		116.7%	11,500	66.4%
売上総利益	1,726	26.4%	1,858	24.4%	107.6%	—	—
販売費及び一般管理費	1,486	22.7%	1,666	21.9%	112.1%	—	—
営業利益	240	3.7%	192	2.5%	80.0%	600	32.0%
経常利益	213	1.8%	135	1.8%	63.7%	560	24.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	141	1.1%	85	1.1%	60.5%	360	23.6%

一部の発電所の工期伸長により計上ズレ生じるも、通期影響無

- 人員増強
- 系統用蓄電池事業への先行支出の増加
- 持株会社化、社名変更に伴う一時的費用等

当期は当初の計画通り4Qの完成引き渡しが多いこと、加えて3Qからの完成引き渡しのずれ込みもあり、通期予想は変更なく達成できるとみています

# 2025年4月期 第3四半期 事業領域別の状況



(単位：百万円)	売上高	前年同期比	営業利益 <sup>※</sup>	前年同期比
<b>フロービジネス</b>	<b>6,749</b>	<b>119.4%</b>	<b>431</b>	<b>120.9%</b>
太陽光発電施設 当期販売区画数187区画（前年同期153区画）	2,287	119.9%	96	65.3%
ネットゼロ・エネルギー・ハウス 当期販売棟数176棟（前年同期156棟）	4,462	119.2%	335	160.1%
<b>ストックビジネス</b>	<b>881</b>	<b>99.5%</b>	<b>235</b>	<b>89.6%</b>
O&M <sup>※</sup> 事業及び発電事業 当期管理件数1,892件（前年同期1,986件）	881	99.5%	235	89.6%
<b>合 計</b>	<b>7,631</b>	<b>116.7%</b>	<b>666</b>	<b>107.6%</b>

※ O&Mは、太陽光発電施設等のオペレーション&メンテナンス（施設の維持管理）をいいます

※ 営業利益は共通経費配賦前になります

# 2025年4月期 第3四半期 連結貸借対照表

事業拡大に伴い棚卸資産は順調に増加。

(単位：百万円)	24年4月期 期末	25年4月期 第3四半期末	対前年期末 増減額
流動資産	10,249	11,933	1,684
現金及び預金	1,569	1,258	▲ 311
棚卸資産	6,418	7,984	1,565
その他	2,260	2,690	429
固定資産	1,873	2,092	218
資産合計	12,122	14,025	1,902
負債	7,089	8,921	1,831
有利子負債	4,719	6,911	2,191
純資産	5,033	5,103	70
自己株式	▲ 174	▲ 144	30
負債・純資産合計	12,122	14,025	1,902

太陽光発電施設、ネットゼロ・エネルギー・ハウス用仕入に加え、系統用蓄電池用仕入が増加

棚卸資産増加に伴う借入増

## 2025年4月期 連結業績予想



当初の計画通り、第4四半期において完工引渡物件数多く、売上/利益共に通期予想に変更なし

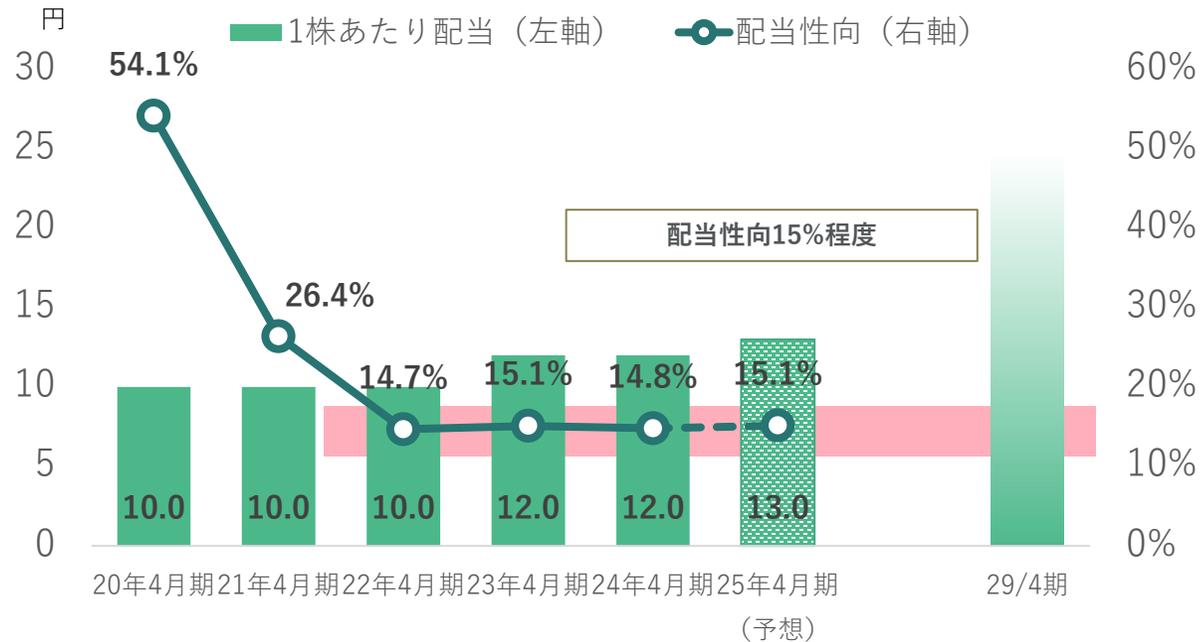
(単位：百万円)	24年4月期 実績	25年4月期 予想	対前年比 通期
売上高	9,676	11,500	118.9%
営業利益	512	600	117.1%
経常利益	502	560	111.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	330	360	108.9%

当期は当初の計画通り4Qの完成引き渡しが多いこと、加えて3Qからの完成引き渡しのずれ込みもあり、通期予想は変更なく達成できるとみています

配当性向と株主優待の両面で高い株主還元を実現

## 配当性向

配当性向15%を長期的に維持



## 株主優待

株主優待 **30,000円**

対象：300株以上保有株主

4月末・10月末各時点  
15,000円分  
Quoカード

# 事業活動トピックス：系統用蓄電池 開発が順調に進捗

系統用蓄電池 千葉県印西市・栃木県佐野市案件他、成約や着工が多数進行



系統用蓄電池  
GX-Pack

「系統用蓄電池」。  
蓄えるのは、  
未来です。

系統用蓄電池  
GX-Pack

電力供給  
工場や企業施設  
一般の住宅など  
使用者

発電所  
蓄電所  
系統(送配電網)  
余剰電力を充電

系統用蓄電池。  
蓄えるのは、  
未来です。

GreenEnergy & Company

2x2 GX-Pack  
1億9,980万円～

2x4 GX-Pack  
2億9,980万円～

第1期  
オーナー募集

PV EXPO 太陽光発電展 出展  
2/19-21 PV 太陽光発電展 出展  
(東京ビッグサイト)

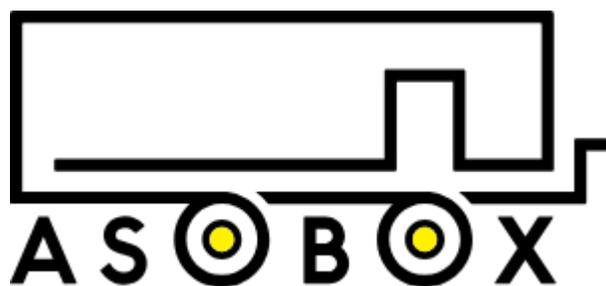
日経新聞・徳島新聞広告掲載

注力事業である系統用蓄電池の組成が順調に進捗しております

# 事業活動トピックス：トレーラーハウスASOBOX 活況な展開



トレーラーハウスASOBOX 各種メディアにて取り上げられています



2/1  
月刊地主と家主  
(全国賃貸住宅新聞社)



11/29  
月刊スマートハウス



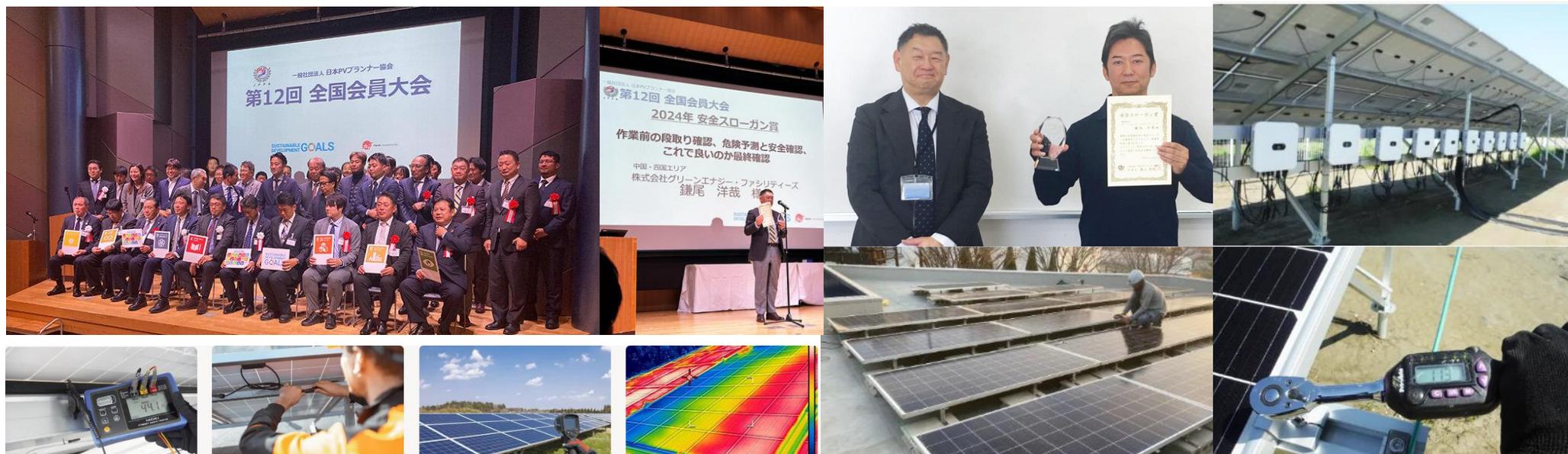
11/18  
物流新時代  
(トラック情報社)



業界でも注目度が高く多数のお問い合わせや商談依頼を頂いております

# 事業活動トピックス：太陽光メンテナンス、日本PVプランナー協会より表彰

一般社団法人日本PVプランナー協会 全国大会（11/22）にて最優秀賞を受賞



当社のメンテナンス施工の品質性と安全性をより一層高めるべく努力を続けて参ります

2/10 グリーنز・グリーンHDと苔栽培技術で業務提携



## 農地の有効活用と太陽光発電収益の両立を実現

スナゴケ



当社施工の広島県にあるソーラーシェアリング施設で、苔栽培の実証中

今後も様々な「農業 x エネルギー」ソリューションを開発します

# 企業トピックス：COP29 アゼルバイジャン現地会場から発信

11/19 アゼルバイジャンCOP29会場併設ジャパンパビリオン 鈴江崇文登壇



当社が提唱する「マイクロGX」構想を全世界へ向けて発信しました

※「マイクロGX」とは、個人事業者、家庭、地域コミュニティが小規模な単位で実践するグリーン・トランスフォーメーションを指します。

# 2

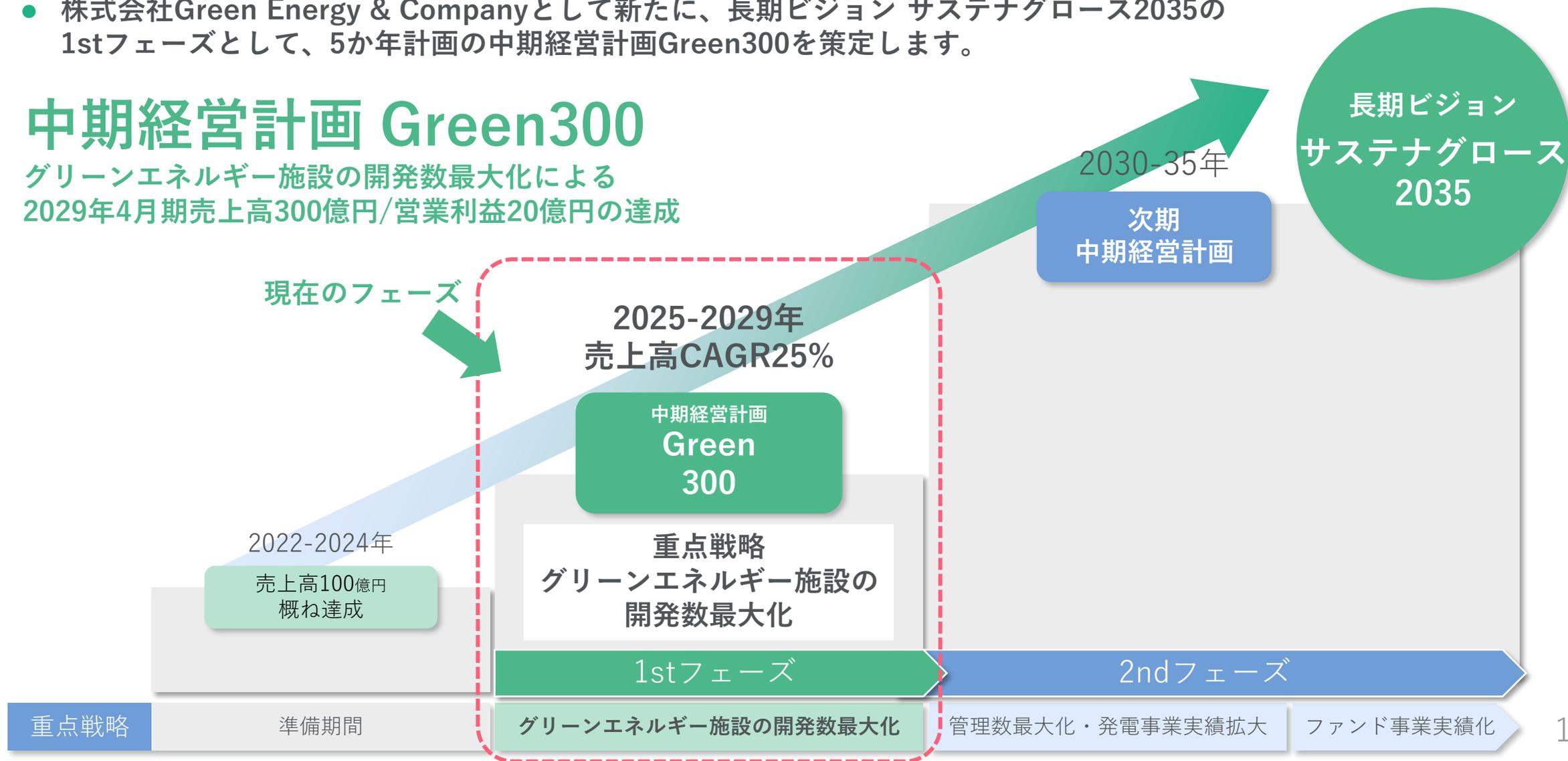
## 中期経営計画 Green300 (25年4月期- 29年4月期) の進捗

# 中期経営計画 Green300（25年4月期- 29年4月期）の位置づけ

- 株式会社Green Energy & Companyとして新たに、長期ビジョン サステナグロース2035の1stフェーズとして、5か年計画の中期経営計画Green300を策定します。

## 中期経営計画 Green300

グリーンエネルギー施設の開発数最大化による  
2029年4月期売上高300億円/営業利益20億円の達成



# 現在進行中の戦略：開発数最大化

- 2024年4月期までの準備期間を経て本中期経営計画においてグリーンエネルギー施設の開発数を最大化します。

## 太陽光発電施設

### FIT発電所EPC※



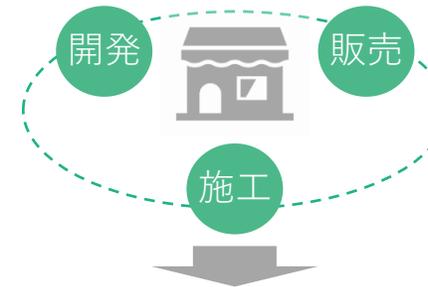
全国展開実績

### Non-FIT発電所EPC

関東エリア高圧発電所実績化  
低圧発電所開発体制構築

## ネットゼロ・エネルギー・ハウス

### 店舗ユニット



四国・大阪店舗数の拡大

これまでの取り組み

今後の戦略

低圧・高圧両面での  
開発進行本格化

エリア内ユニット数拡大  
(ドミナント戦略によるシェア拡大)

※ EPCはEngineering（設計）、Procurement（調達）、Construction（建設）の事業の事をいいます

# 現在進行中の戦略：太陽光発電施設の戦略進捗

- Non-FIT発電所 低圧・高圧両面での開発区画数が伸長
- 組織体制の強化と生産効率の追求を継続中

## Green300における取り組み

低圧・高圧両面での開発進行をグリーンエネルギー&カンパニーの強みである「規格化」をテコに開発・販売のスピードを加速化

### 重点戦略

	低圧	高圧
Non-FIT	開発体制の構築	関東での実績化
FIT	全国展開の実績積み上げ	全国展開の実績積み上げ

### エリア戦略

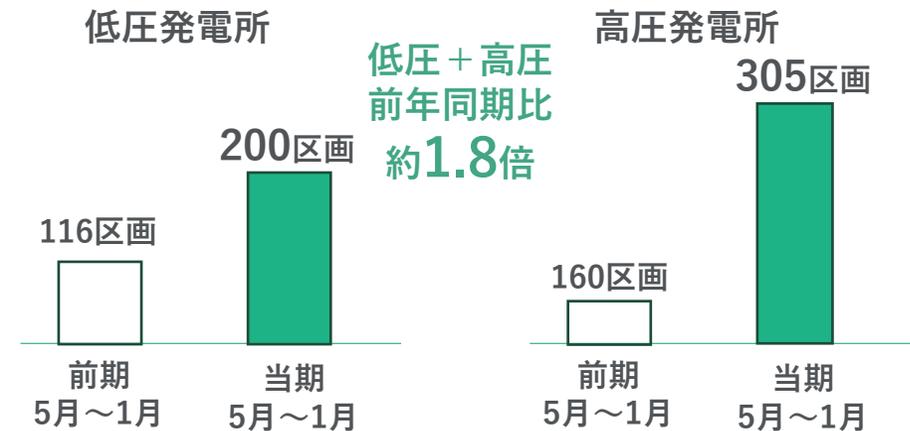
- ① 関東
- ② 四国
- ③ 中部（静岡・愛知・三重・岐阜・長野・山梨）

### 投資計画

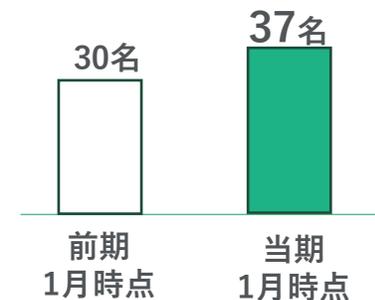
	人的投資	設備投資	DX投資	資本政策
Non-FIT	◎	○	◎	◎
FIT	○	△	△	△

※ ◎は重点投資、○は積極投資、△はニュートラルを意味します

## Non-FIT開発数※用地取得ベース



## Non-FIT組織人員数



## DX投資

各種土地データベース  
調査連携システム

施工管理システム強化  
ANDPAD採用・導入



# ネットゼロ・エネルギー・ハウスの戦略進捗

- 前期に拡大したユニット体制の軌道化が進み開発仕入棟数が順調に伸長

## Green300における取り組み

ドミナント戦略に基づく、エリア内におけるユニット数の拡大及び事業エリアの拡大

### 重点戦略①：店舗ユニット数の拡大

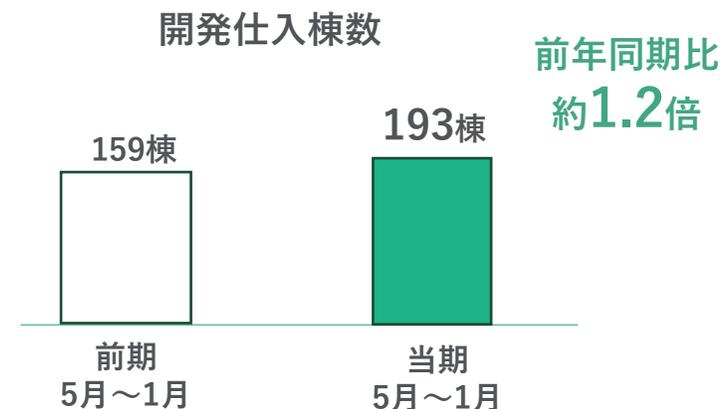


### 重点戦略②：事業エリアの拡大

- ・ 継続的に四国・大阪店舗数の拡大
- ・ 全国展開は、フランチャイズまたは事業買収により実施

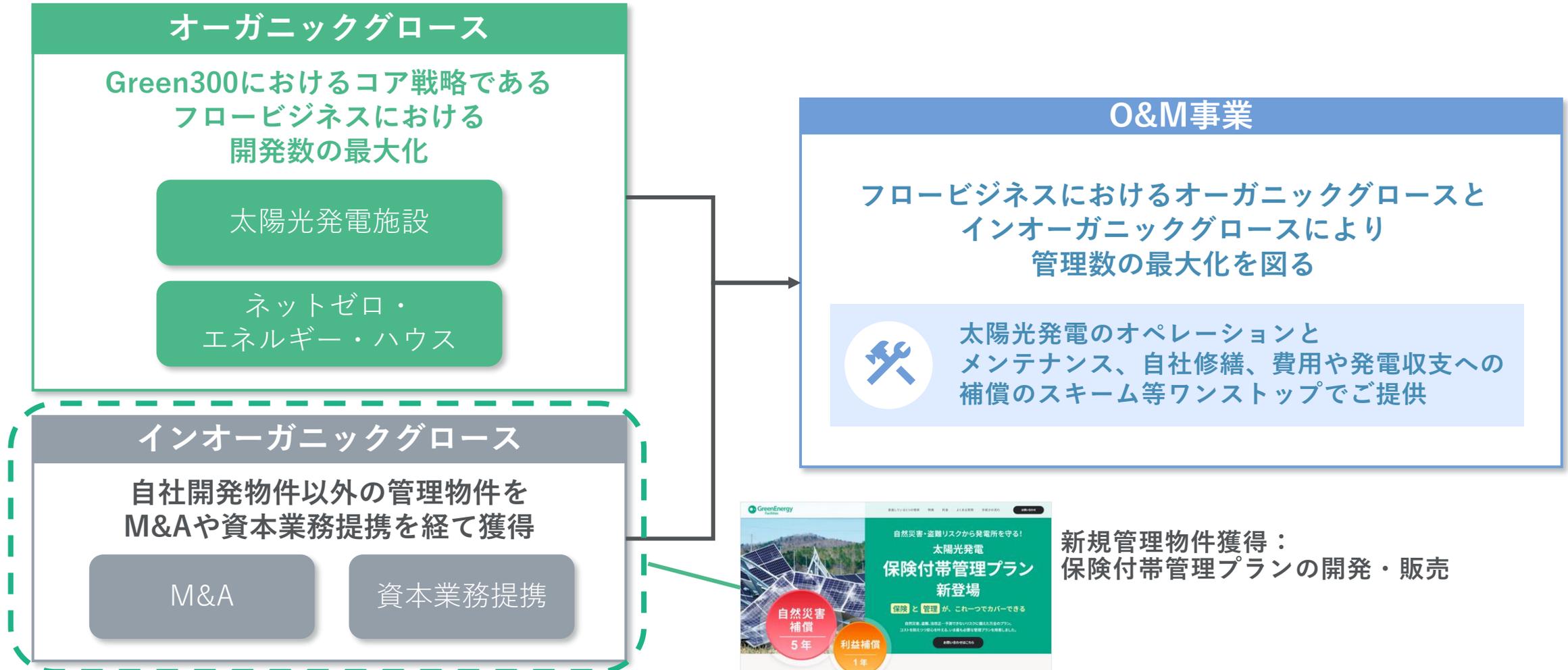
当期は前期までに拡大したユニット・店舗の軌道化に注力

新規入社社員の稼働向上により進行棟数拡大を実現化



# ストックビジネス戦略（O&M）

- フロービジネスにおけるグリーンエネルギー施設の開発数最大化によりストックビジネスのコアであるO&M事業における管理数の最大化を図ります。



# 3

## Appendix

Purpose

Vision

Value

サステナブルな  
社会の実現を  
新しい常識で



個人参加型、  
持続可能エネルギー社会  
の実現

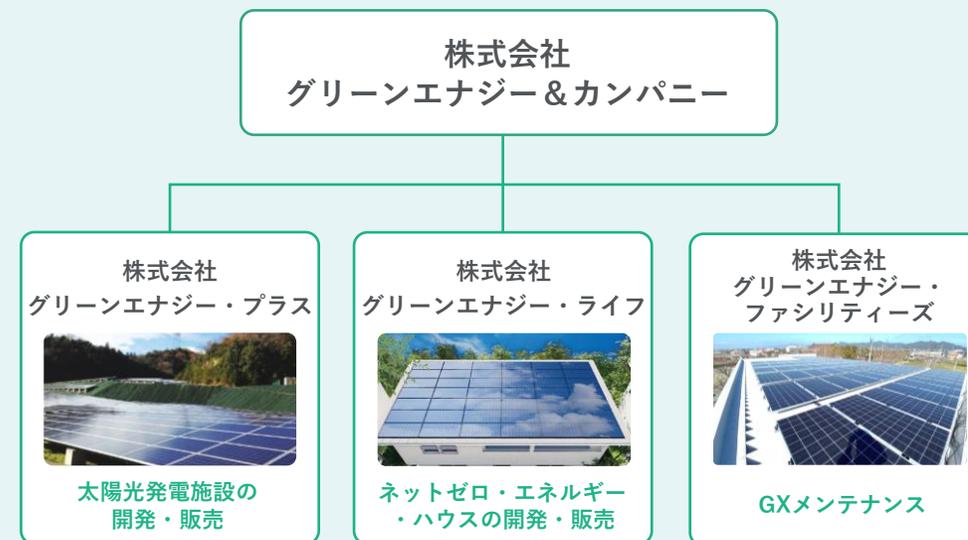
Governance : 誠心・誠意・誠実に  
Rock : 楽しく！仕事も人生も  
Engagement : お客様と社会と共に  
Execute : ACTION ACTION ACTION  
New Challenge : 自分事で積極的に

# 会社概要



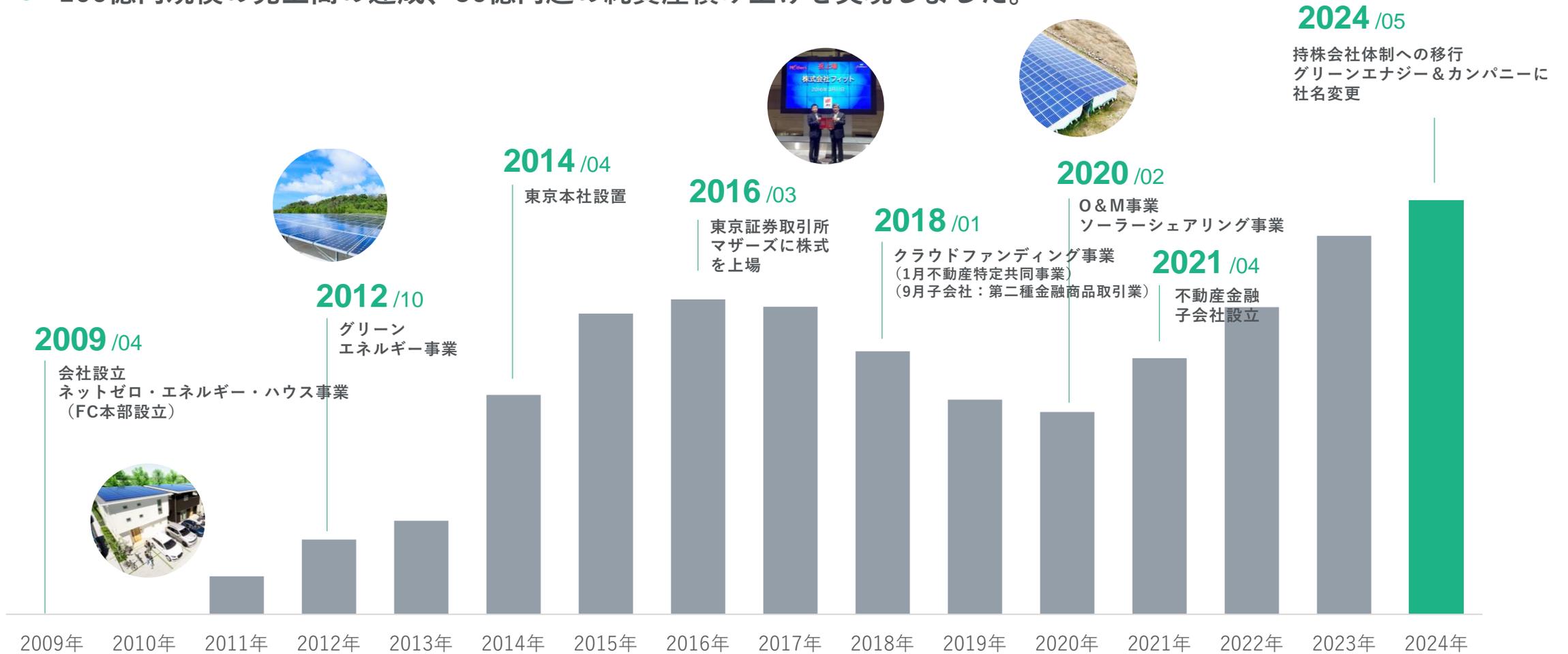
商号	 株式会社グリーンエネルギー&カンパニー
上場	東京証券取引所グロース市場 1436 
代表者	代表取締役社長 鈴江 崇文
本社所在地	東京本社：東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル8F 徳島本社：徳島県板野郡松茂町 中喜来字群恵39番地1
創立	2009年
資本金 ※2024年4月末日時点	970百万円（資本準備金含む）
連結従業員数 ※2024年10月末日時点	147名
連結売上高 ※2024年4月末日現在	96億円
事業内容	GX関連企業で構成されるグループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務

- 2009年 徳島県で創業  
ネットゼロ・エネルギー・ハウス事業に参入
- 2012年 グリーンエネルギー事業に参入
- 2016年 東証マザーズ上場（徳島県で初）
- 2024年 社名変更 持株会社体制へ移行



# 成長の軌跡

- 100億円規模の売上高の達成、50億円超の純資産積み上げを実現しました。



# グリーンエネルギー&カンパニーの起源 ~Origin~

- 規格化と再エネの掛け算がグリーンエネルギー&カンパニーの起源になります。



## 株式会社グリーンエネルギー&カンパニー 代表取締役社長 鈴江 崇文

1997年：大手ハウスメーカー入社、注文住宅営業を担当  
2001年：大手建材メーカーグループ入社、住宅フランチャイズ加盟店の指導を担当  
2003年：徳島県のゼネコンに入社、営業推進業務と企業改革を担当  
2009年：株式会社フィットを設立  
2012年：クリーンエネルギー事業への取り組み  
2016年：東証マザーズに上場  
2024年：グリーンエネルギー&カンパニーに社名変更

## 規格化

- 徳島県の負債を抱えたゼネコンにて、業界不況の中で大改革を断行しました。20億円以上の既存事業をすべて縮小し、新規事業として「規格化」をテーマに、極限まで無駄を削ぎ落とし効率を追求した「規格型住宅事業」に取り組み、経営危機を乗り越える
- 当事業は全国の建設業界で注目される実績を上げる
- 当事業を独立させ、株式会社フィットを設立

## 再エネ

- 2011年のドイツ視察にて、ソーラーエネルギーなどのエネルギー政策、公共交通機関を中心とした都市デザイン、緑の保護条例など、先進環境対策と快適性が注目される都市、フライブルクに出会う。
- その地域経済活性化と域内循環モデルの原動力が再生可能エネルギーであったことから、このスキームを日本の地域経済循環モデルに活かすことを着想。

# グリーンエネルギー&カンパニーのプロダクト

- 太陽光発電施設、ネットゼロ・エネルギー・ハウス等の低圧グリーンエネルギー施設の規格化ノウハウを活かし全国へ展開します。

## 太陽光発電施設

再生可能エネルギー発電所



営農型太陽光発電所※1



## 系統用蓄電池

系統用蓄電所※2



系統用蓄電池一括受注サービス

# GX-Pack



## ネットゼロ・エネルギー・ハウス

スタンダードモデル アップグレードモデル



「稼働できる」家



「稼いでくれる」家



「シェアする」家



## スマート農業

アグリファクトリー



ソーラーシェアリング（施設型）



ソーラーシェアリング（露地型）



※1 営農型太陽光発電所は、農地に太陽光発電パネルを設置し、農業と発電を同時に行う発電所をいいます  
 ※2 系統用蓄電所は、電力系統に接続する大規模な蓄電池をいいます

## グリーンエネルギー施設※1開発数

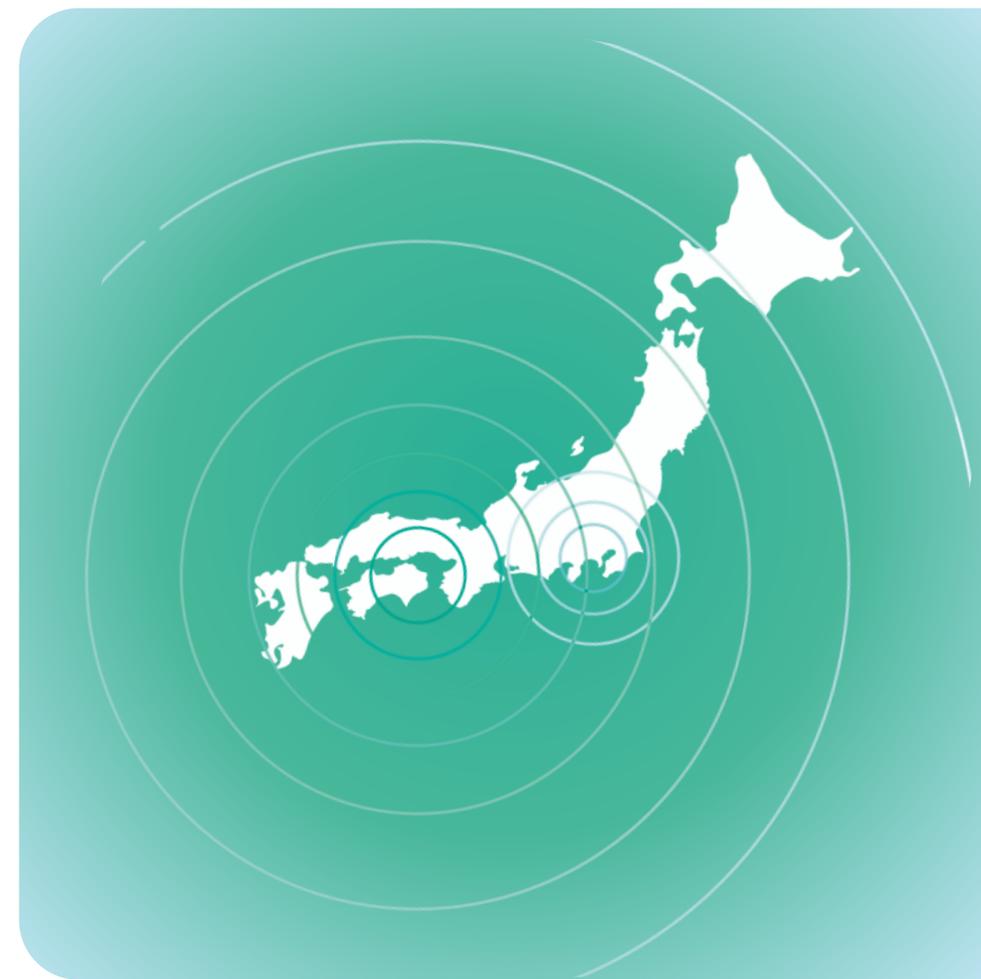
4,902件※2

太陽光発電施設開発数（2025年1月時点）および  
ネットゼロ・エネルギー・ハウス※3開発数（2025年1月時点）の合計

※1 グリーンエネルギー施設は、太陽光発電施設とネットゼロ・エネルギー・ハウスの総称をいいます

※2 創業来の会社集計値

※3 ネットゼロ・エネルギー・ハウスは、年間で消費するエネルギー量を実質ゼロ以下にする家（ZEH）をいいます



本参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることをご了承ください。

会社の業績に影響を与えうる事項の詳細な記載は「有価証券報告書」の「事業等のリスク」にありますのでご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

IRに関する問い合わせ先：ir@green-energy.co.jp